| 学校番号 | 310 |
|---|---|

# 平成 31 年度　社会科

| 教科 | 公民 | 科目 | 政治経済 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「政治経済」（東京書籍） | | | | | | |
| 副教材等 | | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

① 授業を通じて、ニュース・話題の本質を読み取り、社会生活に生かす。
② 身近な話題を提供し、現代社会の諸問題について興味を持って考える姿勢を育む。
③ 現在の世界の中の日本について、将来にわたる諸問題の解決策を考える。

2　学習の到達目標

現代社会の諸課題について様々な観点から追究し、政治・経済・国際関係を客観的に俯瞰し、良識ある公民としての公正な思考力、判断力、表現力を培う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | :関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:資料活用の技能 | d:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ・現代社会の基本的問題と人間に関わることがらに対する関心を高め、意欲的に課題を追求する。<br>・社会的事象を総合的に考察しようという態度と平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身につける。<br>・現代社会に生きる人間としての在り方、生き方について自覚を深める。 | ・現代社会の基本的な問題と人間に関わることがらから課題を見出し、事象の本質を考える。<br>・人間としてのあり方、生き方に対して多面的、多角的に考察して、社会の変化やさまざまな立場を判断する。その過程や結果をさまざまな方法で適切に表現する。 | ・現代社会の基本的問題と人間に関わることがらに関する様々な資料やメディアを通じて収集できる力。<br>・有用な情報を適切に選択し、効果的に活用して学び方を身につける。また、「ファクトチェック」ができる能力を養う。 | ・現代社会の基本的問題と人間としての在り方、生き方とに関わる基本的な知識、問題解決に対する多様な意見を理解する力をつける。 |
| 評価方法 | ワークシート<br>グループ討議 | 定期考査<br>課題テスト<br>グループ発表 | 定期考査<br>課題テスト<br>グループ発表 | 定期考査<br>課題テスト |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | B | c | d | | |
| 一学期 | 現代の資本主義社会 | ・資本主義社会体制の成立<br>・資本主義社会の成立と発展その変容 | ○<br>○ | ○<br>○ | ○<br>○ | ○<br>○ | a:資本主義の成立、発展、矛盾、問題点を理解しその解決策を見出す。<br>b: 社会主義体制について考察し、現代の世界経済について理解する<br>c:経済のグローバル化を関連づけて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を検証する。<br>d: 現代経済の特質と歴史的背景について理解し、その知識を身につける。 | 定期考査<br>課題テスト<br>グループ発表 |
| 一学期 | 現代の経済のしくみ | ・経済主体と経済の循環<br>・市場経済の仕組みと限界<br>・国民純生産と経済成長<br>・政府の役割とその機能<br>・金融の仕組み<br>・財政の役割<br>・日本経済の変遷と現状 | ○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○ | a：家計・企業・政府の経済循環の仕組みを学び、意欲的に現代社会のあり方を追究する。<br>b：市場のメカニズムや景気がどのように国民に影響を与えるか。国民の役割と課題を関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程を理解する。<br>c：国民総生産や経済成長率など統計資料を理解し、経済状況の変化の要因や日本の経済変遷をまとめ、知識を身につける。<br>d：「小さな政府」「大きな政府」の違いを理解し、現在の政府の役割について考査圧する。貨幣制度が経済社会に与える影響や銀行制度の発展を理解し、経済社会に生きることに役立てる。 | 定期考査<br>課題テスト<br>グループ発表 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 二学期 | 民主主義の基本原理・日本国憲法の基本原理 | ・民主主義の成立<br>・現代の民主政治<br>・日本国憲法の制定と基本原理<br>・政治機構とその組織<br>・政党政治について<br>・天皇について<br>・平和主義<br>・憲法改正 | ○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○ | a:私たちの暮らしに憲法がどのように関わっているのか理解し、自分たちの持つ権利を理解したうえで、国家と個人のあり方を生き方を構築する<br>b：現代の民主主義と民主社会の倫理から課題を見出す。<br>c:現代社会において政治参加に関わる様々な課題が生じていることについて、政治機構のあり方、問題点を考察して、問題解決の方策を見出す。<br>d:日本国憲法の平和主義の歴史的経緯や特色を理解し、平和主義と日本の安全保障について考察して、自己の意見をもつ。 | 定期考査<br>課題テスト<br>グループ発表 |
| 三学期 | 日本国憲法の権利と義務 | ・基本的人権の考え方<br>・新しい人権<br>・社会人の基礎知識 | ○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○ | a：憲法に規定されている人権について理解を深め、意欲的に新しい人権について追究する姿勢をもつ。<br>b：「働く者」として必要な知識や教養を身につけ、社会貢献ができるものの見方考え方を培う<br>c；必要な資料を収集し、有用な情報を選択して読み取り図表などにまとめ表現する。<br>d：現代社会に生きる上で憲法以外の基本的な法律について理解し、役立てる。 | 定期考査<br>課題テスト |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。